

2022年9月28日

報道関係各位

ヒョンデカード株式会社  
バンクウェアグローバル株式会社  
株式会社エクサ  
GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

## 革新的なクレジットカード発行システムを 2023 年 10 月より提供開始

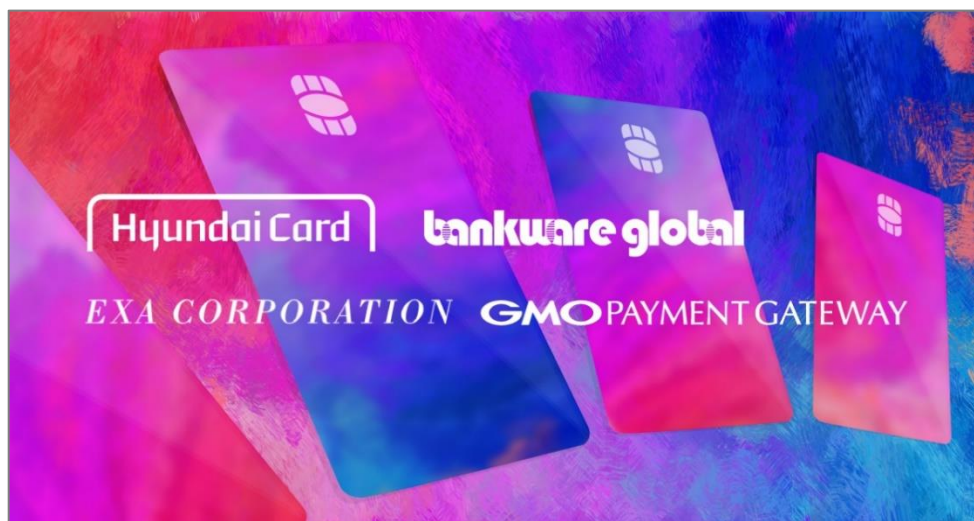
～日本におけるクレジットカード発行を、低コスト・短期間で実現～

ヒョンデカード株式会社（Vice Chairman & CEO：Ted Chung 以下、HCC）、バンクウェアグローバル株式会社（Co-CEO：Kyungjo Lee、Co-CEO：Eunjoong Lee 以下、BwG）、株式会社エクサ（代表取締役 社長執行役員：千田 朋介 以下、エクサ）、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）の4社は、韓国国内において提携カード発行数 No.1<sup>(※1)</sup> の HCC が提供するクレジット基幹プラットフォーム「H-ALIS（Hyundai Advanced Library Card Information System）」の日本国内での展開において、協業することを合意しました。日本国内向けにローカライズした「H-ALIS」を、GMO-PG が提供する銀行・カード会社など金融機関の BaaS（Banking as a Service）<sup>(※2)</sup> を支援する「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」の「クレジットカードドイシューイングサポート」として、2023年10月より提供する予定です。

「H-ALIS」はクレジットカードの発行を、プログラミングを伴わず標準テンプレートやパラメーター設定により実現する、実績のあるパッケージソフトウェアです。そのため日本の金融機関・金融サービスを展開する事業者は、これまでにない低コストとスピードでクレジットカードを発行することが可能となります。

(※1) 韓国で PLCC（Private Label Credit Card）発行数 No.1。HCC 調べ、2021年8月時点。

(※2) 金融ライセンスを持つ機関が金融機能をサービス（API）として提供すること。



### 【背景と概要】

日本におけるキャッシュレス決済比率は 2021 年時点で 32.5%であり、日本政府は将来的に世界最高水準の 80%まで上昇させることを目指し、キャッシュレス決済の推進に取り組んでいます<sup>(※3)</sup>。中でもクレジットカード決済はキャッシュレス支払額のうち 85.3%<sup>(※3)</sup> と多くを占めており、プロパーカード<sup>(※4)</sup>・提携カー

ドに加えバーチャルカードなど多彩なクレジットカードをスピーディーに発行したいという事業者ニーズは、今後も高まると考えられます。

このような背景のもと HCC・BwG・エクサ・GMO-PG の 4 社は、個人消費額に占めるクレジットカード決済の割合が 75.4% (2017 年)<sup>(※5)</sup> を占めるクレジットカード先進国である韓国で提携カード発行数 No.1 の HCC が提供する、クレジット基幹プラットフォーム「H-ALIS」を日本国内向けにローカライズして ASP サービスとして提供することにしました。

日本国内での展開は、GMO-PG が提供する銀行・カード会社など金融機関の BaaS を支援する「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」の「クレジットカードイシューイングサポート」として行い、料金体系を月額固定料金とすることでコストを低廉化します。また、PCI DSS<sup>(※6)</sup> は GMO-PG にて完全準拠し、データセンターやシステム運用要員も GMO-PG が準備するため、クレジットカードを新たに発行する事業者の負担を大幅に軽減します。さらに、拡張性のある API 基盤により、FinTech 事業者との連携や、カード会員への様々な付加価値やサービスの提供を容易に実現することが可能となります。

(※3) 一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス・ロードマップ 2022」(2022 年 8 月 3 日発表)

(※4) カード発行会社が独自に発行しているクレジットカードのこと。

(※5) 財務総合政策研究所「「デジタル時代のイノベーションに関する研究会」報告書 第 9 章 韓国の動き」(2019 年 6 月発表)

(※6) クレジット業界におけるグローバルセキュリティ基準のこと。

## 【4 社の協業について】

韓国の大手カード会社 HCC は、クレジット基幹プラットフォーム「H-ALIS」の著作権を保有しており、GMO-PG に「H-ALIS」のライセンスを提供します。BwG は「H-ALIS」のアプリケーション販売会社として、カスタマイズやシステム保守を担います。クレジットカード領域における 35 年の開発・運用実績を有するエクサは、「H-ALIS」の日本国内向けローカライズを主導した実績に基づき、多種多様なお客様要件・ニーズに対応したカスタマイズ・導入・運用インテグレーションサービスを提供します。GMO-PG は日本国内向けにローカライズされた「H-ALIS」を ASP サービスとして提供し、開発、FEP<sup>(※7)</sup> の提供、及び日本国内での営業を行います。

(※7) 「Front End Processor」の略。カード会社が外部ネットワークの接続に際し必要となるシステム。

## 【日本国内向けに展開する「H-ALIS」について】

「H-ALIS」は HCC が韓国で提供するクレジット基幹プラットフォームです。日本国内向けには、日本語対応、支払方法やクレジットネットワーク、法規制といった日本固有の特性に合わせたローカライズを行っています。柔軟性・高い拡張性が特徴のパッケージソフトウェアのため、クレジットカード発行業務の運用効率化が可能です。日本国内の金融機関・金融サービスを展開する事業者には、GMO-PG が提供する銀行・カード会社など金融機関の BaaS を支援する「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」の「クレジットカードイシューイングサポート」として提供します。

### ■ 低コスト・短期間でのクレジットカード発行

標準テンプレート活用とパラメーター設定により新しいクレジットカードを発行するため、開発費用・労力を抑えることができ、また通常数か月要する商品テスト及びそのシステム反映の期間が最短 1 週間程度に短縮できます。

### ■ API 基盤活用によるスムーズなシステム連携

拡張性のある API 基盤のため、信用情報機関・印刷会社など外部サービスとの連携を容易に実現します。

### ■ 迅速な機能改修

広く普及している開発言語である Java で開発するため、稼働後も迅速な機能改修が可能です。

## 【ヒョンデカード株式会社について】

ヒョンデ自動車グループの金融部門であるヒョンデカードは、カード会員のライフスタイルに最適化された幅広い商品で、韓国のクレジットカード業界をリードしています。PLCC（Private Label Credit Card）とデータサイエンスを活用し個人向けにカスタマイズしたカード特典の提供による圧倒的な成長により、2021年に会員数 1,000 万人を達成し、従来の伝統的な金融会社から AI とデータサイエンスを得意とする金融テクノロジー企業へと変貌を遂げています。

## 【バンクウェアグローバル株式会社について】

バンクウェアグローバルはコアバンキング、クレジットカードコア、割賦リース金融など銀行や金融会社の次世代基幹システムソフトウェアを開発、供給する韓国の金融ソフトウェア企業として 2010 年 10 月に設立されました。バンクウェアグローバルはアジア 6 ヶ国 100 社以上<sup>(※8)</sup>のリーディングバンクと金融機関を顧客として確保しており、日本国内では子会社であるバンクウェアジャパンを介してクレジットカードとバンキングシステムのソフトウェア販売、システム構築およびメンテナンス事業を展開しています。

(※8) 2022 年 9 月 28 日時点

## 【株式会社エクサについて】

株式会社エクサは、先進技術を活用した DX を推進し、上流のコンサルティングから開発、運用・保守までの各種サービスを総合的に提供しています。

特に、決済業界では 35 年にわたり 40 社を超える<sup>(※9)</sup>企業の決済システムに携わり、豊富な業務知識と先進技術を融合したサービスとシステム開発力をもとに、企業のデジタルイノベーション促進に貢献しています。

(※9) 2022 年 9 月 28 日時点

## 【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

ネットショップなどのオンライン事業者、NHK、国税庁や東京都等の公的機関など 10 万店舗以上の加盟店に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供しています。決済サービスを中心に、加盟店の成長に資する付加価値サービス、金融技術を活用した決済手段や資金ニーズに対応するサービスを提供し、年間決済処理金額は 10 兆円を超えています。(2022 年 6 月末現在、連結数値)

決済業界のリーディングカンパニーとして、キャッシュレスや DX を進める事業者や金融機関に対して、各種決済・金融関連のソリューションやプラットフォームの提供、決済インフラの構築などを行っています。また、海外での決済関連サービス展開や海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資などグローバル展開も進めています。今後も新たなイノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。

以上

### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社  
企業価値創造戦略 統括本部 広報・UX 部  
TEL : 03-3464-0182  
お問い合わせフォーム :  
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>
- GMO インターネットグループ株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 寺山  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

### 【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO ペイメントゲートウェイ株式会社  
イノベーション・パートナーズ本部  
戦略営業統括部  
デジタルトランスフォーメーション戦略部  
プロセッシング Gr  
TEL : 03-3464-2323  
E-mail : [info@gmo-pg.com](mailto:info@gmo-pg.com)

【ヒョンデカード株式会社】（URL：<https://www.hyundaicard.com/index.jsp>）

会 社 名	ヒョンデカード株式会社
所 在 地	韓国ソウル市永登浦区
代 表 者	Vice Chairman & CEO Ted Chung
事 業 内 容	■金融
資 本 金	8,023 億ウォン

【バンクウェアグローバル株式会社】（URL：<https://www.bankwareglobal.com/>）

会 社 名	バンクウェアグローバル株式会社
所 在 地	韓国ソウル市中区統一路 86 3 階（巡和洞、バビエンビル）
代 表 者	Co-CEO Kyungjo Lee Co-CEO Eunjoong Lee
事 業 内 容	■金融ソフトウェア開発、供給、構築及びメンテナンス
資 本 金	11.2 億ウォン

【株式会社エクサ】（URL：<https://www.exa-corp.co.jp/>）

会 社 名	株式会社エクサ
所 在 地	神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5 横浜アイマークプレイス 2 階
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 千田 朋介
事 業 内 容	■業務改善、構想策定等のシステム全般に関するコンサルティング ■情報システムに関する企画・設計・開発・構築・運用・保守 ■ソフトウェア及びハードウェアの開発、販売及びサービス提供 ■情報システムに関するアウトソーシング及びクラウドサービスの提供
資 本 金	12 億 50 百万円

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】（URL：<https://www.gmo-pg.com/>）

会 社 名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証プライム 証券コード:3769）
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：<https://www.gmo.jp/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム 証券コード:9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業                      ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業                          ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円